

緑化だより

No.20 平成19年9月号



ヒガンバナ:平成17年9月21日撮影

○きのこウォッチング

○さんぽ道

○研修会・イベント報告

7/28: 夏休み親子自然教室

8/4: 親子木工体験教室

○研修会・イベント紹介

○花だより

マツムシソウ

○お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

きのこウォッチング

アオイヌシメジ・・・きのこには少ない青緑色の傘で、しかもいい香りがします。桜餅のような、あるいは香料植物として知られるアニスの果実にふくまれるアニス油の香りに似るとも言われています。このきのこの香りをかぐと疲れが休まるという人もいるぐらいです。食用。



アオイヌシメジ

ドクツルタケ・・・欧米では別名”Destroying Angel”(殺しの天使)とも言われ、食べると死に至る恐ろしいきのこですが見るだけなら十分に楽しめる純白の美しいきのこです。柄の根元には袋状のツボがあり、また柄の上方には襟巻きのような膜質のツバを備えています。



ドクツルタケ

ベニナギナタタケ・・・この和名はまさにキノコの色と形を表すものでわかりやすいですが、きのこらしくない形のきのこです。まるで地面から炎が燃え上がっているような形です。食用ですが、よく似たカエントケという毒きのこがあるので注意が必要です。



ベニナギナタタケ

さんぽ道 『アカマツ林の道』

(延長 1km 所要時間 40 分)

センター池横にある案内板からスタートします。鯉の餌やり場を通り、野鳥の森方面へ進みます。右手に**ムクロジ・カツラ・ムラサキシキブ**などがあり、木橋を渡り**ヤマアジサイ**の路に出ます。**シロダモ・クロモジ・アブラチャン**などを見ながら進むと薬草園から下りてくる道に合流し、左側に「野鳥の森観察路」という標示の方に進みます。その先に「マツタケ展示林」という標示があります。

さらに進んで左折すると左側は施業されたアカマツ林が広がり、右側は未施業の自然林があります。その先を右に進んでいくと、**ヤブツバキ**が多く見られます。

作業路に出て右カーブの先を左に下ると「山頂へ 1300m」という標示があり反対方向に下ります。この辺りは、**アカマツ**を中心に、**ソゴ・ヒサカキ・ハイノキ・コバミ**

ツバツツジなど多く見られます。足元には**アカマツ**の落葉が堆積して滑りやすいので注意して下ります。十字路に出ると右に進みます。少し薄暗くなり、**シロダモ・サカキ・リョウブ・アセビ・ソゴ**などが見られます。それから溪流があり、少し上りになって、ジグザクに下ります。「青年漁業者体験植樹」という角柱があり、さらに下るとレストハウス裏庭に出てきます。



研修会・イベント報告

7月28日(土) 『夏休み親子自然教室』

当日は夏休みらしく、日差しが強く汗ばむ中での研修会でした。最初に学習室で簡単な昆虫の話やこの時期に見られる昆虫の説明の後、外に出て観察会を行いました。

暑さのためか昆虫はあまり見られず、なかなか確認することができませんでした。クワガタムシやカブトムシを期待していた子どもたちには物足りない雰囲気でしたが、最後に事前に職員で確保していたクワガタムシ、雄・雌1匹ずつプレゼントすると、満面の笑みで虫かごに入れていました。生き物に触れて、その素晴らしさや生き物を大切にする気持ちを育んでもらえたのではないのでしょうか。

8月4日(土) 『親子木工体験教室』

今回は、額縁・起き上がりこぶしの作成を行いました。折り紙や木の実・枝・葉などを貼り付けたオリジナルの額縁です。その他、額縁建てや竹製のポックリを持ち帰ってもらいました。早速学習室の中で、「パカ・パカ」とポックリに乗って歩いていました。



夏休み親子自然教室



親子木工体験教室



額縁作品

研修会・イベント紹介

○9月7日(金) 『秋の七草と自然探勝』 10:00～12:00 学習室集合

講師 センター職員 正本 良忠

○9月15日(土) 『初秋の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師 植物研究家 中塚 道則 先生

○9月19日(水) 『薬草・薬樹を学ぼう』

10:00～12:00 学習室集合

講師: 広島大学医学部准教授 神田 博史 先生

昔の人々は、身の回りの植物を有効に利用し、薬草として体調を整えたり、治療に利用したりしていました。昨今の健康ブームにより薬膳料理や山菜などの自然食に興味を持っている方も増えています。

神田先生の面白くてためになる話をぜひ聞いてみてください。

○9月29日(土) 『園芸福祉・園芸療法を学ぼう』

10:00～12:00 学習室集合 講師: 広島国際大学教授 吉長 成恭 先生

高齢化社会が進行している中、園芸福祉や園芸療法に接している方や、見聞きしたことがあるという方は沢山いらっしゃると思います。今後、需要が高まるであろう分野について、じっくり学んでみてはいかがでしょうか。



昨年度実施状況

花だより

マツムシソウ

マツムシソウ科 マツムシソウ属

昼間はまだまだ暑く、残暑の厳しい日々が続いていますが、お盆を過ぎたあたりから、朝夕は幾分涼しさが感じ取れるようになってきました。空の色もなんとなく澄みきった感じがしています。毎年この時期になると心待ちにしている花があります。それは『マツムシソウ』です。



マツムシソウ

開花時期は8月中旬～10月下旬になります。県内では主として県北の草原のあちこちに淡い紫色の美しい花を風になびかせ、秋を感じずにはられません。

和名は、マツムシ(昔はスズムシのことをマツムシと呼んでいたようです)の鳴く頃開花するのでこの名がついたとも言われています。確かに盆を過ぎるとスズムシが鳴き始めています。

マツムシソウは、二年草なので、発芽から開花まで2年かかります。種子を11月ごろ採種し、すぐに播種すると発芽しますので、越年してその翌年の秋にやっと開花します。

その淡い紫色の花は、2年間待つだけの価値があると思います。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ **展示会のお知らせ** 展示場所・・・レストハウス

○**ボタニカルアート展**:8月22日(水)～9月12日(水)迄
植物を実寸大で描いた線密画の展示

○**私の好きな自然の写真展**:9月14日(金)～10月8日(月)迄
写真愛好家が撮影した様々な写真を展示

○**緑化センターの野鳥の巣展**:9月5日(水)～10月25日(木)
センター内で子育てをした後の色々な野鳥の巣を展示

(レストハウス・管理事務所には様々な資料を置いてありますのでご自由にお取り下さい)



ボタニカルアート

◎ **夏休み企画** 草花の苗(マリーゴールド・ペチュニア・サルビア等)を無料配布しています

7/10から4日間、温品中学校の2年生5名が緑化センターで行った職場体験で播種した草花です。レストハウス前で配布しています。

◎ **10月21日(日)は 第6回『山の日』県民の集い**

県内6箇所では10月21日に開催されるイベントです。緑化センターでは、マツタケ林やさくらの森の整備・丸太切り体験・どんぐり教室など森や自然を育み、親しんでいただける催しを予定しています。マツタケ御飯の販売や餅まき、草花のプレゼントなども行う予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

◎ **森林ボランティアを随時募集しています**

月に1回、一緒に爽やかな汗をかいてみませんか。初心者の方でも気軽に参加できます。森林整備や散策路整備を中心に活動を行っています。